

平成 19 年度後期岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学
専門科目	ミクロ経済学

以下の 2 問とも解答しなさい。なお、問 1 と問 2 は別々の解答用紙を用いなさい。

問 1 以下のコブ＝ダグラス型生産関数と総費用関数を仮定する。

$$\text{生産関数} \quad : y = x_1^{1/2} x_2^{1/2}$$

$$\text{総費用関数} : TC = w_1 x_1 + w_2 x_2$$

ただし y は生産量, x_1 および x_2 は要素投入量, w_1 および w_2 は要素価格である。
下記の各問に答えなさい。

- (1) 上記の生産関数の性質は、「規模に関して収穫逓減」、「規模に関して収穫一定」、「規模に関して収穫逓増」のどれであることを説明しなさい。
- (2) 費用が最小になるときの x_1 および x_2 の値を求めなさい。
- (3) (2) で求めた値を使って、総費用(TC)、平均費用(AC)、限界費用(MC)を w_1 , w_2 および y を用いた式で表しなさい。

問 2 以下の①～③の用語から 2つ を選び、それぞれについて簡単な経済モデルなどを例示して説明しなさい。

- ①厚生経済学の第 1 定理 ②コースの定理 ③囚人のディレンマ

以上